

Q1. オムロンのコアコンピタンスはどういったところか？

- A. 1つ目は、社憲の精神。事業を通じて社会の課題を解決し、社会に貢献していきたいという気持ちがあふれているところ。
- 2つ目は、全社を通じたセンシング&コントロール+Thinkのコア技術。
- 3つ目は、それぞれの事業。制御機器事業とヘルスケア事業は特に強い基盤。

Q2. センシング、コントロール、Think それぞれで成長させたいと思っている分野は？

- A. 特定の分野だけ強化させるわけではなく、センシング、コントロール、Thinkを総合的に強化し、全ての商品をもって他の競合メーカーにない強みを生かしていきたいと考えています。

Q3. 株主総会のお土産は？

- A. 今年は低周波治療器をご用意いたしました。

Q4. 株主総会は東京で開催しないのか？

- A. 例年はオムロン本社のある京都で開催しております。おそらく、来年度も現段階では確定していませんが、京都で開催予定でございます。

Q5. 障害者比率は2%を超えているか？

- A. 2016年度は3.3%でした。

Q6. 制御機器のオムロンではなくロボットのオムロンといったようなキャッチフレーズが欲しい。

- A. ロボットだけで成長していこうとは考えておらず、トータルソリューションの総合提案でお客様の役に立っていきたくと考えております。キャッチフレーズに関しましては今後皆様からアドバイスをいただけますと幸いです。

Q7. 株価が上場来最高値を更新したがそれについてはどう考えるか？

- A. 短期の好業績が影響していることに加え、中長期の経営計画が投資家様に認められているからではないかと個人的には考えております。